

第66回情報・システム研究機構国立極地研究所運営会議議事要録

日 時 令和5年10月19日（木）14:00～16:30

場 所 国立極地研究所 中会議室及びZoom

出席者 阿部委員、池原委員、石川委員、井関委員、香川委員、佐藤委員、塩川委員、古谷委員、森本委員、山本委員、渡部潤一委員、渡部直樹委員、伊村委員、榎本委員、堤委員、東委員、外田委員、門倉委員、平譯委員

欠席者 宮岡委員

陪席者 野木所長、村山南極観測センター／北極観測センター副センター長、宮本南極観測センター企画業務担当マネージャー、熊谷広報室長、沼田立川共通事務部長、政田総務課長、市川研究推進課長、伴財務課長兼経理課長、小濱研究推進課副課長、坂本極地研事務課長、瀬戸口極地研係長、中山極地研係員

（開会）

坂本極地研事務課長から、出席者は委員20名の内16名（その後の最終的な出席者は19名）であり、会議の成立要件である定足数（委員の過半数の出席）を充たしていることが報告された。

議長から開会が宣言された。

（所長挨拶）

議事に先立ち、10月から所長に就任した野木所長から挨拶があった。

（委員挨拶）

新たに委員となった堤副所長から挨拶があった。

（副議長選出）

議長から、副議長の選出について提案があり、伊村委員が副議長に選出された。

伊村副議長から挨拶があった。

（前回議事要録（案）確認）

前回議事要録（案）が原案のとおり了承された。

(審議事項)

1. 研究教育職員の人事について

選考審査委員会委員長であった野木所長から資料1-1に基づき、先端研究推進系教授の公募について説明があり、続けて回収資料1-2及び1-3に基づき審査の概要及び候補者の推薦理由について説明があった。

ジェンダーバランスにおける分野による特性や、ジェンダーバランスを整えるために検討されているアクションについて質疑応答があった。また、応募者における研究所内部・外部の割合について質疑応答があり、外部との人材の流動性について意見交換があった。

質疑応答、意見交換の後、Zoomの投票機能による投票及び開票が行われた。

投票の結果、すべての候補者を採用することを決定した。

2. 令和6年度の新たな共同研究の導入と今後の在り方

堤委員から、資料2に基づき、令和6年度の新たな共同研究の導入と今後の在り方について説明があり、旅費の支給、予算の配分、分野の設定、年度ごとの採択件数の割当設定、予算の使途等について意見が出され、また、外部委員の所属機関における事例の紹介があった。出された意見や事例については、今後、検討することとし、審議の結果、了承された。

(報告事項)

1. 特任教員及び特任研究員の人事について

堤委員から、資料3に基づき報告があった。

2. 令和6年度の概算要求について

沼田立川共通事務部長から、資料4に基づき報告があった。

3. 南極地域観測事業について

伊村委員から、資料5-1及び5-2に基づき報告があり、南極地域観測隊の夏隊の編成について質疑応答があった。

4. 北極研究について

榎本委員から、資料6に基づき報告があり、北極域研究加速プロジェクト中間評価結果についての質疑応答、また、国際的なデータのやり取りに関するIUGGでの決議についての意見交換があった。

5. 国際極域・地球環境研究推進センターの活動について

野木所長及び伊村委員から、資料7に基づき報告があり、MoU締結先のリストについて質疑応答があった。

6. 関連シンポジウム等の開催について

伊村委員から、資料8に基づき報告があった。

7. 最近の研究成果について

伊村委員から、資料9に基づき報告があり、プレスリリース後のフィードバックのデータ収集方法について質疑応答があった。

8. 広報活動について

伊村委員から、資料10に基づき報告があり、一般公開の参加人数についてコメントがあった。

9. 総合研究大学院大学先端学術院極域科学コースの現況について

平譚委員から、資料11に基づき報告があった。

10. 創立50周年記念事業について

沼田立川共通事務部長から、資料12に基づき報告があった。

(閉会)

議長から閉会が宣言された。

以上